

インド・ボンド・オープン (毎月決算型)

運用報告書(全体版)

第65期 (決算日 2018年12月12日)
第66期 (決算日 2019年 1 月15日)
第67期 (決算日 2019年 2 月12日)
第68期 (決算日 2019年 3 月12日)
第69期 (決算日 2019年 4 月12日)
第70期 (決算日 2019年 5 月13日)

(作成対象期間 2018年11月13日～2019年 5 月13日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	約9年10カ月間 (2013年7月10日～2023年5月12日)	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	イ. インド・ルピー建ての債券 ロ. インド・ルピー以外の通貨建ての債券のうち、次のもの i. インドの政府、政府関係機関および企業が発行する債券 ii. 国際機関等が発行する債券 ハ. ダイワ・インド・ルピー債マザーファンドの受益証券
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。また、第1および第2計算期末には、収益の分配は行ないません。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、インド債券等に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9:00～17:00）
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			ＪＰモルガン ＧＢＩ－ＥＭ インデックス (円換算)		公 社 債 組入比率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 騰 落 率	(参考指数)	期 騰 落 率		
	円	円	%		%	%	百万円
41期末(2016年12月12日)	11,811	60	9.1	14,394	9.6	95.1	149
42期末(2017年 1月12日)	11,610	60	△ 1.2	14,227	△ 1.2	95.4	143
43期末(2017年 2月13日)	11,463	60	△ 0.7	14,076	△ 1.1	95.7	137
44期末(2017年 3月13日)	11,440	60	0.3	14,162	0.6	94.4	136
45期末(2017年 4月12日)	11,297	60	△ 0.7	14,101	△ 0.4	94.5	120
46期末(2017年 5月12日)	11,735	60	4.4	14,756	4.6	95.6	120
47期末(2017年 6月12日)	11,671	60	△ 0.0	14,820	0.4	94.2	111
48期末(2017年 7月12日)	11,919	60	2.6	15,191	2.5	95.4	114
49期末(2017年 8月14日)	11,626	60	△ 2.0	14,878	△ 2.1	92.4	110
50期末(2017年 9月12日)	11,698	60	1.1	15,024	1.0	91.3	110
51期末(2017年10月12日)	11,639	60	0.0	15,023	△ 0.0	95.6	91
52期末(2017年11月13日)	11,714	60	1.2	15,191	1.1	91.0	87
53期末(2017年12月12日)	11,697	60	0.4	15,310	0.8	95.7	88
54期末(2018年 1月12日)	11,431	60	△ 1.8	15,037	△ 1.8	94.4	87
55期末(2018年 2月13日)	10,924	60	△ 3.9	14,457	△ 3.9	94.8	86
56期末(2018年 3月12日)	10,494	60	△ 3.4	14,001	△ 3.2	94.7	83
57期末(2018年 4月12日)	10,651	60	2.1	14,274	1.9	94.1	84
58期末(2018年 5月14日)	10,313	60	△ 2.6	13,967	△ 2.2	92.4	80
59期末(2018年 6月12日)	10,304	60	0.5	14,023	0.4	94.1	80
60期末(2018年 7月12日)	10,213	60	△ 0.3	14,053	0.2	95.1	80
61期末(2018年 8月13日)	10,134	60	△ 0.2	14,077	0.2	95.9	78
62期末(2018年 9月12日)	9,525	60	△ 5.4	13,286	△ 5.6	94.8	71
63期末(2018年10月12日)	9,428	60	△ 0.4	13,342	0.4	94.1	56
64期末(2018年11月12日)	9,836	60	5.0	14,094	5.6	94.8	59
65期末(2018年12月12日)	9,896	60	1.2	14,376	2.0	94.6	59
66期末(2019年 1月15日)	9,702	60	△ 1.4	14,240	△ 0.9	84.2	58
67期末(2019年 2月12日)	9,798	60	1.6	14,480	1.7	94.8	58
68期末(2019年 3月12日)	10,098	60	3.7	15,047	3.9	96.0	60
69期末(2019年 4月12日)	10,252	60	2.1	15,311	1.8	95.8	61
70期末(2019年 5月13日)	9,937	60	△ 2.5	14,941	△ 2.4	95.7	59

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) J Pモルガン ＧＢＩ－ＥＭ インデックス(円換算)は、J Pモルガン ＧＢＩ－ＥＭ インデックス(インド・ルピーベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。J Pモルガン ＧＢＩ－ＥＭ インデックス(インド・ルピーベース)は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

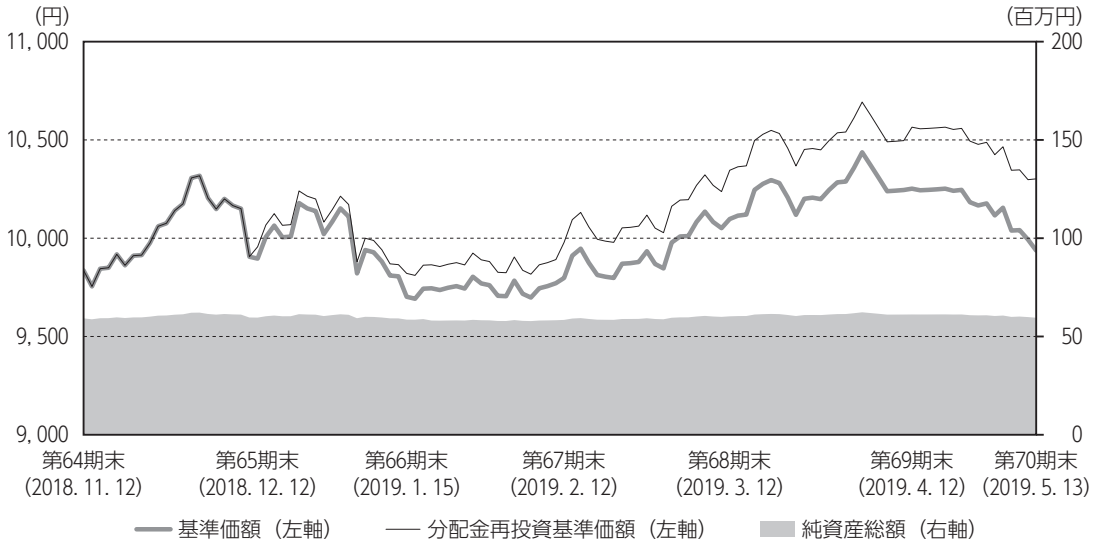
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第65期首：9,836円

第70期末：9,937円（既払分配金360円）

騰落率：4.7%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

主にインド・ルピー建ての債券に投資した結果、インド・ルピーが対円で小幅に下落したことはマイナス要因となりましたが、債券の利息収入と債券価格の上昇（金利は低下）がプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

インド・ボンド・オープン（毎月決算型）

	年 月 日	基 準 価 額		J Pモルガン GBIーEM インド (円換算)		公 社 債 入 率 組 比
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	
第65期	(期首) 2018年11月12日	円 9, 836	% —	14, 094	% —	% 94. 8
	11月末	10, 307	4. 8	14, 848	5. 3	95. 9
	(期末) 2018年12月12日	9, 956	1. 2	14, 376	2. 0	94. 6
第66期	(期首) 2018年12月12日	9, 896	—	14, 376	—	94. 6
	12月末	10, 110	2. 2	14, 727	2. 4	94. 5
	(期末) 2019年 1 月15日	9, 762	△ 1. 4	14, 240	△ 0. 9	84. 2
第67期	(期首) 2019年 1 月15日	9, 702	—	14, 240	—	84. 2
	1 月末	9, 705	0. 0	14, 219	△ 0. 2	94. 2
	(期末) 2019年 2 月12日	9, 858	1. 6	14, 480	1. 7	94. 8
第68期	(期首) 2019年 2 月12日	9, 798	—	14, 480	—	94. 8
	2 月末	9, 846	0. 5	14, 548	0. 5	96. 0
	(期末) 2019年 3 月12日	10, 158	3. 7	15, 047	3. 9	96. 0
第69期	(期首) 2019年 3 月12日	10, 098	—	15, 047	—	96. 0
	3 月末	10, 246	1. 5	15, 175	0. 8	95. 6
	(期末) 2019年 4 月12日	10, 312	2. 1	15, 311	1. 8	95. 8
第70期	(期首) 2019年 4 月12日	10, 252	—	15, 311	—	95. 8
	4 月末	10, 116	△ 1. 3	15, 108	△ 1. 3	92. 7
	(期末) 2019年 5 月13日	9, 997	△ 2. 5	14, 941	△ 2. 4	95. 7

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2018. 11. 13 ~ 2019. 5. 13)

■インド債券市況

インド債券金利は低下（債券価格は上昇）しました。

当作成期首より、インフレ率の鈍化や原油価格の下落を背景に金利は低下しました。2018年末にかけて、世界的に景気減速が懸念されたことも金利低下の要因となりました。2019年1月以降は、2019年度（2019年4月～2020年3月）の予算案が財政拡張的な内容になったことによる財政赤字の拡大懸念から、長期金利は低下幅を縮めました。一方で、利下げやインフレ率の低位安定を受けて短期金利は低下しました。3月にかけては、インドの景気鈍化が懸念されたことや総選挙を控えて追加の金融緩和への期待が高まったことで、金利は低下しました。4月には、米国や中国における経済指標の改善を受けて世界的な景気回復への期待が高まったことや原油価格が上昇したことで、金利は低下幅を縮めました。

■為替相場

インド・ルピー為替相場は対円で小幅に下落しました。

当作成期首より、ルピーは原油価格の下落を背景に上昇しました。その後、インド準備銀行の総裁交代劇で中央銀行の独立性が懸念されたことや地方議会選挙で与党の劣勢が報じられたことなどを背景に、下落に転じました。世界的に景気減速が懸念されたことも下落要因となりました。2019年3月には、主要先進国各国の中央銀行が金融引き締め姿勢を後退させたことやインドの貿易赤字の縮小、パキスタンとの軍事的緊張が後退したことなどを背景に、ルピーは上昇しました。当作成期末にかけては、米中間の貿易摩擦が高まったことから市場心理が悪化し、ルピーは再び下落に転じました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド」の受益証券等を通じて、インド・ルピー建ての債券等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

■ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、主として、インド債券等に投資することにより信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。債券ポートフォリオにつきましては、インド・ルピー建ての債券とインド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資します。インド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資する場合、原則として、為替予約取引および直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行います。実際の運用においては、政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどを勘案し運用いたします。

ポートフォリオについて

(2018. 11. 13 ～ 2019. 5. 13)

■当ファンド

「ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド」の受益証券等を通じて、インド・ルピー建ての債券等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

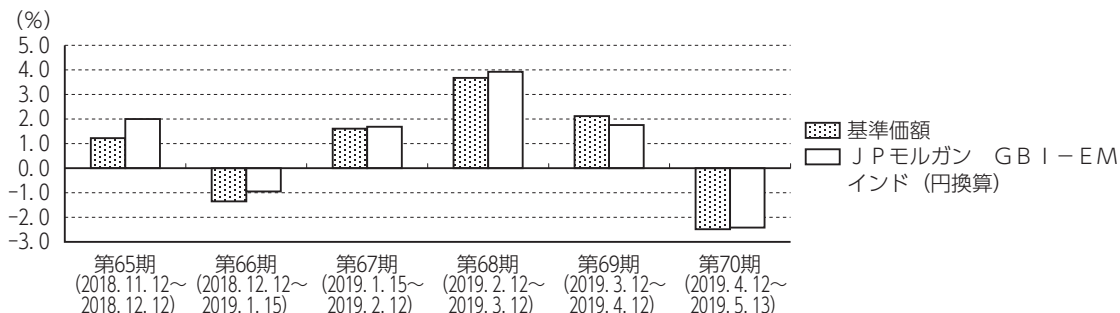
■ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド

債券ポートフォリオは、国債を中心にインド・ルピー建ての債券等に投資しました。また、米ドル建社債に投資した部分については直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はインド債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第65期 2018年11月13日 ～2018年12月12日	第66期 2018年12月13日 ～2019年1月15日	第67期 2019年1月16日 ～2019年2月12日	第68期 2019年2月13日 ～2019年3月12日	第69期 2019年3月13日 ～2019年4月12日	第70期 2019年4月13日 ～2019年5月13日
当期分配金(税込み) (円)	60	60	60	60	60	60
対基準価額比率 (%)	0.60	0.61	0.61	0.59	0.58	0.60
当期の収益 (円)	60	50	45	49	55	46
当期の収益以外 (円)	—	9	14	10	4	13
翌期繰越分配対象額 (円)	2,627	2,617	2,603	2,592	2,588	2,574

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第65期	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 62.40円	✓ 50.26円	✓ 45.45円	✓ 49.61円	✓ 55.30円	✓ 46.24円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	2,624.96	✓ 2,625.09	✓ 2,617.76	✓ 2,603.23	✓ 2,592.86	✓ 2,588.28
(d) 分配準備積立金	0.00	✓ 2.39	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	2,687.37	2,677.75	2,663.21	2,652.84	2,648.17	2,634.52
(f) 分配金	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	2,627.37	2,617.75	2,603.21	2,592.84	2,588.17	2,574.52

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド」の受益証券等を通じて、インド・ルピー建ての債券等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

■ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、主として、インド債券等に投資することにより信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。債券ポートフォリオにつきましては、インド・ルピー建ての債券とインド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資します。インド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資する場合、原則として、為替予約取引および直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行います。実際の運用においては、政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどを勘案し運用いたします。

1万口当りの費用の明細

項 目	第65期～第70期 (2018. 11. 13～2019. 5. 13)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	72円	0. 720%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10, 020円です。
(投 信 会 社)	(32)	(0. 323)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(38)	(0. 376)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(2)	(0. 021)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	10	0. 103	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(6)	(0. 063)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(4)	(0. 037)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	83	0. 824	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

■売買および取引の状況
親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2018年11月13日から2019年 5月13日まで)

決 算 期	第 65 期 ～ 第 70 期			
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・インド・ルピー債 マザーファンド	158	314	1,619	3,178

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
親投資信託残高

種 類	第64期末	第 70 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・インド・ルピー債 マザーファンド	31,030	29,568	59,255

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年 5月13日現在

項 目	第 70 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・インド・ルピー債 マザーファンド	59,255	98.8
コール・ローン等、その他	706	1.2
投資信託財産総額	59,962	100.0

(注 1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注 2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、5月13日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝109.74円、1インド・ルピー＝1.58円です。

(注 3) ダイワ・インド・ルピー債マザーファンドにおいて、第70期末における外貨建純資産 (2,363,242千円) の投資信託財産総額 (2,518,175千円) に対する比率は、93.8%です。

■特定資産の価格等の調査

当ファンドの主要投資対象であるダイワ・インド・ルピー債マザーファンドにおいて行った取引のうち、投資信託および投資法人に関する法律により価格等の調査が必要とされた資産の取引については、あずさ監査法人へその調査を委託しました。対象期間中（2018年11月13日～2019年 5月13日）に該当した取引は、直物為替先渡取引が17件あり、該当取引については当該監査法人からの調査報告書を受領しました。

直物為替先渡取引については、取引の相手方の名称、通貨の種類、売買の別、想定元本、満期日その他当該取引の内容に関することについて調査を委託しました。

なお、本調査は財務諸表監査の一部ではなく、また、価格の妥当性や内部管理体制について保証を提供するものではありません。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2018年12月12日)、(2019年1月15日)、(2019年2月12日)、(2019年3月12日)、(2019年4月12日)、(2019年5月13日)現在

項 目	第65期末	第66期末	第67期末	第68期末	第69期末	第70期末
(A) 資産	60,029,476円	59,009,269円	58,845,433円	60,669,677円	61,629,509円	59,962,508円
コール・ローン等	720,254	713,258	688,234	703,198	725,491	706,842
ダイワ・インド・ルピー債 マザーファンド（評価額）	59,309,222	58,296,011	58,157,199	59,966,479	60,904,018	59,255,666
(B) 負債	433,684	444,385	423,541	425,267	435,081	436,092
未払収益分配金	361,336	362,194	357,749	357,954	358,154	359,417
未払信託報酬	71,958	81,359	64,623	65,784	74,995	74,340
その他未払費用	390	832	1,169	1,529	1,932	2,335
(C) 純資産総額（A－B）	59,595,792	58,564,884	58,421,892	60,244,410	61,194,428	59,526,416
元本	60,222,723	60,365,814	59,624,913	59,659,088	59,692,417	59,902,899
次期繰越損益金	△ 626,931	△ 1,800,930	△ 1,203,021	585,322	1,502,011	△ 376,483
(D) 受益権総口数	60,222,723口	60,365,814口	59,624,913口	59,659,088口	59,692,417口	59,902,899口
1万口当り基準価額（C/D）	9,896円	9,702円	9,798円	10,098円	10,252円	9,937円

* 第64期末における元本額は60,189,240円、当作成期間（第65期～第70期）中における追加設定元本額は571,631円、同解約元本額は857,972円です。

* 第70期末の計算口数当りの純資産額は9,937円です。

* 第70期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は376,483円です。

■損益の状況

第65期 自 2018年11月13日 至 2018年12月12日 第67期 自 2019年1月16日 至 2019年2月12日 第69期 自 2019年3月13日 至 2019年4月12日

第66期 自 2018年12月13日 至 2019年1月15日 第68期 自 2019年2月13日 至 2019年3月12日 第70期 自 2019年4月13日 至 2019年5月13日

項 目	第65期	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期
(A) 配当等収益	△ 1円	△ 1円	△ 1円	△ 1円	△ 1円	△ 3円
支払利息	△ 1	△ 1	△ 1	△ 1	—	△ 3
(B) 有価証券売買損益	792,050	△ 731,006	998,520	2,213,107	1,349,811	△ 1,445,822
売買益	792,050	2,102	1,001,725	2,213,107	1,349,811	—
売買損	—	△ 733,108	△ 3,205	—	—	△ 1,445,822
(C) 信託報酬等	△ 72,348	△ 81,801	△ 64,960	△ 66,144	△ 75,398	△ 74,743
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	719,701	△ 812,808	933,559	2,146,962	1,274,413	△ 1,520,568
(E) 前期繰越損益金	△ 15,220,205	△ 14,841,408	△ 15,767,109	△ 15,104,561	△ 13,253,613	△ 12,309,347
(F) 追加信託差損益金	14,234,909	14,215,480	13,988,278	13,900,875	13,839,365	13,812,849
（配当等相当額）	(15,808,283)	(15,846,572)	(15,608,388)	(15,530,641)	(15,477,445)	(15,504,548)
（売買損益相当額）	(△ 1,573,374)	(△ 1,631,092)	(△ 1,620,110)	(△ 1,629,766)	(△ 1,638,080)	(△ 1,691,699)
(G) 合計（D＋E＋F）	△ 265,595	△ 1,438,736	△ 845,272	943,276	1,860,165	△ 17,066
(H) 収益分配金	△ 361,336	△ 362,194	△ 357,749	△ 357,954	△ 358,154	△ 359,417
次期繰越損益金（G＋H）	△ 626,931	△ 1,800,930	△ 1,203,021	585,322	1,502,011	△ 376,483
追加信託差損益金	14,234,909	14,171,170	13,901,540	13,838,935	13,811,358	13,730,466
（配当等相当額）	(15,808,283)	(15,802,262)	(15,521,650)	(15,468,701)	(15,449,438)	(15,422,165)
（売買損益相当額）	(△ 1,573,374)	(△ 1,631,092)	(△ 1,620,110)	(△ 1,629,766)	(△ 1,638,080)	(△ 1,691,699)
分配準備積立金	14,503	—	—	—	—	—
繰越損益金	△ 14,876,343	△ 15,972,100	△ 15,104,561	△ 13,253,613	△ 12,309,347	△ 14,106,949

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第65期	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期
(a) 経費控除後の配当等収益	375, 839円	303, 401円	271, 011円	296, 014円	330, 147円	277, 034円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	15, 808, 283	15, 846, 572	15, 608, 388	15, 530, 641	15, 477, 445	15, 504, 548
(d) 分配準備積立金	0	14, 483	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	16, 184, 122	16, 164, 456	15, 879, 399	15, 826, 655	15, 807, 592	15, 781, 582
(f) 分配金	361, 336	362, 194	357, 749	357, 954	358, 154	359, 417
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	15, 822, 786	15, 802, 262	15, 521, 650	15, 468, 701	15, 449, 438	15, 422, 165
(h) 受益権総口数	60, 222, 723□	60, 365, 814□	59, 624, 913□	59, 659, 088□	59, 692, 417□	59, 902, 899□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第65期	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期
	60円	60円	60円	60円	60円	60円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

<補足情報>

当ファンド（インド・ボンド・オープン（毎月決算型））が投資対象としている「ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド」の決算日（2018年11月12日）と当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第70期の決算日（2019年5月13日）現在におけるダイワ・インド・ルピー債マザーファンドの組入資産の内容等を12～13ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・インド・ルピー債マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

(2018年11月13日から2019年5月13日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
INTL. FIN. CORP.（国際機関）6.3% 2024/11/25	千円 249,349	India Government Bond（インド）8.33% 2026/7/9	千円 250,425
INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT（国際機関）2021/6/15	135,674	EUROPEAN INVESTMENT BANK（国際機関）6.6% 2019/3/4	225,996
INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT（国際機関）4.65% 2024/10/16	83,649	INTL. FIN. CORP.（国際機関）6.3% 2024/11/25	216,571
India Government Bond（インド）6.62% 2051/11/28	81,312	India Government Bond（インド）6.97% 2026/9/6	153,117
Housing & Urban Development Corp Ltd（インド）8.37% 2029/3/23	79,126	India Government Bond（インド）6.62% 2051/11/28	152,212
EXPORT IMPORT BANK OF INDIA（インド）3.875% 2028/2/1	51,348	HDFC Bank Ltd（インド）7.95% 2026/9/21	106,435
ICICI Bank Ltd/Dubai（インド）3.8% 2027/12/14	21,165	ICICI Bank Ltd（インド）7.6% 2023/10/7	91,377
		India Government Bond（インド）9.15% 2024/11/14	83,160
		India Government Bond（インド）6.84% 2022/12/19	79,908
		EXPORT IMPORT BANK OF INDIA（インド）8.15% 2030/1/21	78,370

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2019年5月13日現在におけるダイワ・インド・ルピー債マザーファンド（1,187,592千口）の内容です。

(1)外国（外貨建）公社債（通貨別）

2019年5月13日現在								
区 分	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちBB格 以下組入 比	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦貨換算金額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
アメリカ	千アメリカ・ドル 2,200	千アメリカ・ドル 2,244	千円 246,305	% 10.3	% —	% 4.3	% 6.1	% —
インド	千インド・ルピー 1,290,000	千インド・ルピー 1,291,846	2,041,117	85.8	—	70.0	12.5	3.3
合 計	—	—	2,287,422	96.1	—	74.3	18.5	3.3

(注1) 邦貨換算金額は、2019年5月13日現在の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

2019年5月13日現在								
区 分		銘 柄	種 類	年利率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日
						外 貨 建 金 額	邦貨換算金額	
アメリカ		EXPORT IMPORT BANK OF INDIA	特殊債券	3.8750	千アメリカ・ドル 500	千アメリカ・ドル 497	千円 54,573	2028/02/01
		Oil India Ltd	社 債 券	5.3750	200	213	23,460	2024/04/17
		Bharat Petroleum Corp Ltd	社 債 券	4.6250	350	363	39,911	2022/10/25
		Adani Transmission Ltd	社 債 券	4.0000	250	238	26,164	2026/08/03
		ICICI Bank Ltd/Dubai	社 債 券	3.8000	200	194	21,377	2027/12/14
		Reliance Holdings USA Inc	社 債 券	5.4000	700	736	80,818	2022/02/14
通貨小計	銘柄数	6銘柄						
	金 額				2,200	2,244	246,305	
インド				%	千インド・ルピー	千インド・ルピー	千円	
		India Government Bond	国債証券	8.9700	150,000	165,852	262,046	2030/12/05
		India Government Bond	国債証券	8.2800	100,000	104,600	165,268	2027/09/21
		India Government Bond	国債証券	9.2300	70,000	82,005	129,567	2043/12/23
		India Government Bond	国債証券	9.2000	50,000	55,989	88,463	2030/09/30
		India Government Bond	国債証券	8.1700	50,000	52,756	83,354	2044/12/01
		India Government Bond	国債証券	6.6200	100,000	87,702	138,569	2051/11/28
		India Government Bond	国債証券	6.7900	100,000	95,720	151,237	2027/05/15
		India Government Bond	国債証券	7.6100	50,000	50,200	79,316	2030/05/09
		India Government Bond	国債証券	6.6800	50,000	46,352	73,236	2031/09/17
		Food Corp of India	特殊債券	9.9500	50,000	52,672	83,221	2022/03/07
		Housing & Urban Development Corp Ltd	特殊債券	8.3700	50,000	50,128	79,203	2029/03/23
		INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	—	100,000	86,217	136,222	2021/06/15
		INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	4.6500	60,000	53,203	84,061	2024/10/16
		INTL. FIN. CORP.	特殊債券	6.3000	30,000	28,797	45,500	2024/11/25
		HDFC Bank Ltd	社 債 券	7.9500	30,000	29,228	46,180	2026/09/21
		ICICI Bank Ltd	社 債 券	7.6000	50,000	49,122	77,612	2023/10/07
		Axis Bank Ltd	社 債 券	8.8500	50,000	50,702	80,109	2024/12/05
		LIC Housing Finance Ltd	社 債 券	7.5850	50,000	49,886	78,820	2020/06/11
		INDIAN RENEW ENERGY DEV	社 債 券	8.0500	50,000	49,146	77,650	2027/03/29
		NTPC Ltd	社 債 券	9.1700	50,000	51,565	81,473	2024/09/22
通貨小計	銘柄数	20銘柄						
	金 額				1,290,000	1,291,846	2,041,117	
合 計	銘柄数	26銘柄						
	金 額						2,287,422	

(注1) 邦貨換算金額は、2019年5月13日現在の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(3)直物為替先渡取引残高

2019年5月13日現在			
種 類	取 引 契 約 残 高		
	想 定 元 本 額		
	買 建	売 建	
直物為替先渡取引	百万円	百万円	
	251	—	

(注1) インド・ルピー（対象通貨）の買建および売建の金額です。

(注2) 単位未満は切捨て。

■直物為替先渡取引（ご参考）

2018年11月13日から2019年5月13日まで		
種 類	取 引 契 約 金 額	
	買 建	売 建
直物為替先渡取引	百万円	百万円
	2,738	1,127

(注1) インド・ルピー（対象通貨）の買建および売建の金額です。

(注2) 単位未満は切捨て。

ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド

運用報告書 第7期（決算日 2018年11月12日）

（作成対象期間 2017年11月14日～2018年11月12日）

ダイワ・インド・ルピー債マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ. インド・ルピー建ての債券 ロ. インド・ルピー以外の通貨建ての債券のうち、次のもの i. インドの政府、政府関係機関および企業が発行する債券 ii. 国際機関等が発行する債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

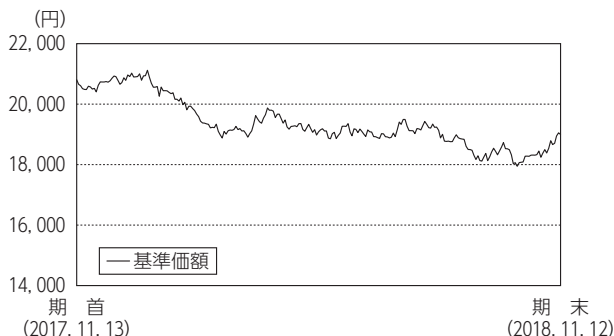
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		J Pモルガン G B I - E M インド (円換算)		公 社 債 組入比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率	
(期首) 2017年11月13日	20,807	—	20,429	—	91.4
11月末	20,733	△ 0.4	20,427	△ 0.0	93.5
12月末	20,788	△ 0.1	20,414	△ 0.1	95.2
2018年 1月末	20,100	△ 3.4	19,696	△ 3.6	93.2
2月末	19,336	△ 7.1	18,996	△ 7.0	94.8
3月末	19,508	△ 6.2	19,223	△ 5.9	94.3
4月末	19,252	△ 7.5	18,957	△ 7.2	93.1
5月末	18,962	△ 8.9	18,660	△ 8.7	94.2
6月末	18,866	△ 9.3	18,618	△ 8.9	95.1
7月末	19,146	△ 8.0	18,934	△ 7.3	95.8
8月末	18,604	△ 10.6	18,387	△ 10.0	94.3
9月末	18,581	△ 10.7	18,423	△ 9.8	94.1
10月末	18,495	△ 11.1	18,417	△ 9.8	94.8
(期末) 2018年11月12日	18,994	△ 8.7	18,954	△ 7.2	95.3

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) J Pモルガン G B I - E M インド (円換算) は、J Pモルガン G B I - E M インド (インド・ルピーベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。J Pモルガン G B I - E M インド (インド・ルピーベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morgan はその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用していません。J.P. Morgan からの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：20,807円 期末：18,994円 騰落率：△8.7%

【基準価額の主な変動要因】

主にインド・ルピー建ての債券に投資した結果、債券の利息収入はプラス要因でしたが、債券価格の下落 (金利は上昇) やインド・ルピーが対円で下落したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○インド債券市況

インド債券金利は上昇 (債券価格は下落) しました。

当作成期の初めは、干ばつの影響を受けた物価上昇や、2019年の選挙を控えて2018年度の予算案が財政支出を拡大する内容となっていたことを受けて、金利は上昇しました。当作成期の後半は、原油高や食料品価格の上振れからインフレ率が高まったこと、原油高や内需の強さを背景に経常収支の赤字幅が拡大したこと、またインド国内の銀行での不良債権問題への懸念が高まったことなどを受けて、インドの金利は上昇しました。その後は、インフレ率の鈍化や原油価格が下落したことなどを受けて、金利は低下に転じました。

○為替相場

インド・ルピー為替相場は対円で下落しました。

当作成期の初めは、地政学リスクの高まりや米国の保護貿易主義的な姿勢を受けて市場のリスク回避度が高まったため、新興国通貨は全般的に下落し、インド・ルピーも対円で下落しました。当作成期の後半も、トルコ・リラが急落するなど、新興国通貨が全般的に下落しました。また、インドの経常収支が原油高や内需の強さを背景に赤字幅を拡大したことや、インド国内の銀行での不良債権問題への懸念が高まったことを受けて、ルピーは対米ドルで軟調に推移しました。そのため、ルピーは対円でも軟調に推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンドの商品性格に鑑み、主として、インド債券等に投資することにより信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、インド・ルピー建ての債券とインド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資します。インド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資する場合、原則として、為替予約取引および直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行ないます。実際の運用においては、政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどを勘案し運用いたします。

◆ポートフォリオについて

債券ポートフォリオは、国債を中心にインド・ルピー建債券等に投資しました。また、米ドル建社債に投資した部分については直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。参考指数はインド債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

《今後の運用方針》

当ファンドの商品性格に鑑み、主として、インド債券等に投資することにより信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、インド・ルピー建ての債券とインド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資します。インド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資する場合、原則として、為替予約取引および直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行ないます。実際の運用においては、政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどを勘案し運用いたします。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	一円
有価証券取引税	—
その他費用	29
（保管費用）	(22)
（その他）	(7)
合 計	29

(注 1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
(注 2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■主要な売買銘柄
公 社 債

当 期		期	
買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
EUROPEAN INVESTMENT BANK (国際機関) 6.6% 2019/3/4	230,756	India Government Bond (インド) 8.3% 2042/12/31	230,756
India Government Bond (インド) 8.33% 2026/7/9	93,649	India Government Bond (インド) 8.32% 2032/8/2	82,417
India Government Bond (インド) 8.3% 2042/12/31	83,430	India Government Bond (インド) 8.17% 2044/12/1	81,648
India Government Bond (インド) 6.68% 2031/9/17	76,636	Housing Development Finance Corp Ltd (インド) 8.2% 2021/7/29	80,393
Power Grid Corp of India Ltd (インド) 7.2% 2027/8/9	74,472	Power Grid Corp of India Ltd (インド) 7.2% 2027/8/9	72,607
Rural Electrification Corp Ltd (インド) 3.875% 2027/7/7	44,629	India Government Bond (インド) 9.23% 2043/12/23	54,279
		INDIAN RAILWAY FINANCE CORP LTD (インド) 3.917% 2019/2/26	35,648
		Bharti Airtel Ltd (インド) 4.375% 2025/6/10	20,448
		Rural Electrification Corp Ltd (インド) 3.875% 2027/7/7	19,959
		EUROPEAN INVESTMENT BANK (国際機関) 6.6% 2019/3/4	7,869

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注 2) 単位未満は切捨て。

■売買および取引の状況

(1) 公 社 債

(2017年11月14日から2018年11月12日まで)

			買 付 額	売 付 額
			千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル
外	アメリカ	特殊債券	—	(100)
		社 債 券	398	684
国	インド	国債証券	千インド・ルピー 150,600	千インド・ルピー 283,450
		特殊債券	148,875	4,980
		社 債 券	45,970	95,579

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注 2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注 3) 社債券には新株予約権付社債券（転換社債券）は含まれておりません。
(注 4) 単位未満は切捨て。

(2) 直物為替先渡取引

(2017年11月14日から2018年11月12日まで)

種 類	取 引 契 約 金 額	
	買 建	売 建
直物為替先渡取引	百万円	百万円
	4,995	76

(注 1) インド・ルピー（対象通貨）の買建および売建の金額です。
(注 2) 単位未満は切捨て。

(1)外国(外貨建)公社債(通貨別)

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

17

区 分		当 期			末		
		銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	
						外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額
		LIC Housing Finance Ltd	社 債 券	7.5850	千インド・ルピー 50,000	千インド・ルピー 49,723	千円 78,562
		INDIAN RENEW ENERGY DEV	社 債 券	8.0500	50,000	47,146	74,491
		NTPC Ltd	社 債 券	9.1700	50,000	50,630	79,995
通貨小計	銘柄数	26銘柄					
	金 額				1,975,000	1,954,808	3,088,597
合 計	銘柄数	33銘柄					
	金 額						3,418,765

(注 1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注 2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(3) 直物為替先渡取引残高

2018年11月12日現在

種 類	取 引 契 約 残 高	
	想 定 元 本 額	
	買 建	売 建
	百万円	百万円
直物為替先渡取引	345	—

(注 1) インド・ルピー（対象通貨）の買建および売建の金額です。
(注 2) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年11月12日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	3,418,765	95.3
コール・ローン等、その他	170,383	4.7
投資信託財産総額	3,589,148	100.0

(注 1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注 2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月12日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=113.94円、1インド・ルピー=1.58円です。
(注 3) 当期末における外貨建純資産（3,580,526千円）の投資信託財産総額（3,589,148千円）に対する比率は、99.8%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年11月12日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	3,612,628,373円
コール・ローン等	57,445,947
公社債（評価額）	3,418,765,597
未収入金	33,489,490
未収利息	93,229,781
前払金	376,640
前払費用	9,320,918
(B) 負債	23,835,209
未払金	23,700,000
その他未払費用	135,209
(C) 純資産総額（A－B）	3,588,793,164
元本	1,889,393,881
次期繰越損益金	1,699,399,283
(D) 受益権総口数	1,889,393,881口
1万口当り基準価額（C／D）	18,994円

* 期首における元本額は2,171,533,554円、当作成期間中における追加設定元本額は250,274,336円、同解約元本額は532,414,009円です。
* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、インド・ボンド・オープン（毎月決算型）31,030,174円、ダイワ・インド・ルピー債オープン（毎月分配型）1,858,363,707円です。
* 当期末の計算口数当りの純資産額は18,994円です。

■損益の状況

当期 自 2017年11月14日 至 2018年11月12日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	262,314,784円
受取利息	262,340,657
支払利息	△ 25,873
(B) 有価証券売買損益	△ 631,597,410
売買益	5,085,464
売買損	△ 636,682,874
(C) 先物取引等損益	△ 19,178,298
取引益	29,087,372
取引損	△ 48,265,670
(D) その他費用	△ 6,016,666
(E) 当期損益金 (A + B + C + D)	△ 394,477,590
(F) 前期繰越損益金	2,346,748,347
(G) 解約差損益金	△ 494,860,284
(H) 追加信託差損益金	241,988,810
(I) 合計 (E + F + G + H)	1,699,399,283
次期繰越損益金 (I)	1,699,399,283

- (注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。